

近代測量150年記念事業推進会議設立趣意書

平成31年（2019年）は、明治政府に近代測量を行う機関が設置された明治2年（1869年）から起算して満150年に当たります。国土の開発事業の土台ともいえる測量・地図作成は、国の基本的な形を築き上げた多岐にわたる近代化への取組の一つと言えます。「近代測量150年」の節目の年に、これまでの発展の足跡を明らかにし、同時に将来につなげられる様々な記念事業を実施することは意義あるものと考えます。

例えば、明治期以降には様々な人物が測量・地図作成の世界で活躍されたにもかかわらず、時間とともにその記憶が薄れ、現在では一部にしか知られていない方も見られます。「近代測量150年」を機に、これら先人の活動や業績を改めて知り、測量や地図に関する技術や文化を広く一般の方々も再認識することで、測量・地図作成の未来に向けた更なる発展につながるのではないのでしょうか。

測量や地図が社会に果たす役割は非常に大きいものの、これらの価値や重要性、さらに測量や地図作成に従事する技術者の役割等については、これまで広く一般に十分な理解を得られているとは言い難い状況でした。近代測量の開始から150年に当たるのを機に、この間の測量・地図作成の発展を振り返るとともに未来を描く起点となるような「近代測量150年記念事業」を実施することにより、測量・地図作成に携わる関係機関がより一層の連携を図れればと願います。

測量・地図作成の役割や重要性について、広く一般に適切な周知を行うとともに、測量・地図作成の次世代を担う若者が一考する契機となり、関係各界全体が一層発展することを目指し、ここに「近代測量150年記念事業推進会議」を設立するものです。

平成30年3月13日

発起人一同

(発起人内訳)

(一社) 全国測量設計業協会連合会	会 長	野 瀬	操
(一財) 測量専門教育センター	会 長	上 條	勝 也
(一社) 地図協会	理事長	小 島	久 武
(一社) 地図調製技術協会	会 長	安 藤	保 隆
(公社) 日本測量協会	会 長	矢 口	彰
(公財) 日本測量調査技術協会	会 長	岡 部	篤 行
(一財) 日本地図センター	理事長	野々村	邦 夫
国土交通省国土地理院	院 長	村 上	広 史